デジタルプラス

2026年11月13日

各　位

会　社　名　株式会社デジタルプラス
住　　所　東京都渋谷区元代々木町30番13号
代表者名　代表取締役社長　菊池　誠晃
（コード番号：3691 東証グロース市場）
問い合わせ先　取締役CFO　加藤　涼
TEL. 03-5465-0690

減損損失計上のお知らせ

当社グループは、2026年9月期連結会計年度において、以下の通り減損損失を計上いたしました。

(1)減損損失の計上について

当社連結子会社である株式会社デジタル and が運営するメンタルヘルス事業「マヒナ」に係るのれんについては、毎期、当社グループの共通費を各事業に配賦したうえで、事業計画を基礎とした将来キャッシュ・フローの見積りにより回収可能価額を算定し、減損の要否を判定しております。

前連結会計年度末においては、回収可能価額が帳簿価額を上回っていたことから、減損損失は計上しておりませんでした。

当連結会計年度において、同事業の売上総利益は増加基調で推移しており、事業を取り巻く外部環境にも大きな変化はございません。

一方で、当連結会計年度は、当社グループ全体の共通費が増加したことに加え、ピース事業及びデジタルマーケティング事業の譲渡・撤退によりグループ全体の共通費を負担する事業が減少したことから、同事業に配賦される共通費が増加し、期初の事業計画を下回る結果となりました。

この状況を踏まえ、将来キャッシュ・フローの見積りにあたっては、事業計画において見込んでいた今後の成長を織り込まず、共通費の配賦額を含む直近の実績水準が継続することを前提とする見積りに見直しました。

その結果、回収可能価額（使用価値）が帳簿価額を下回ったため、のれんの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失37,294千円を計上いたしました。

(2)業績に与える影響

上記の減損損失の計上による業績への影響等につきましては、本日開示いたしました「2026年9月期決算短信［IFRS］(連結)」に反映しております。

以　上